

院内がん登録二次利用についての拒否（オプトアウト）説明書

院内がん登録は、がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号）により、院内がん登録の実施に係る指針（厚生労働省告示第470号）に即して行うこととされています。これらのデータは現在毎年、全国の施設におけるがん医療の実態把握のために、提出元が保持する対応表が無い限り個人が識別できない状態のデータとして国立がん研究センターに提出されていますが、その二次的な利用については拒否（オプトアウト）の機会が提供されています。

今回の拒否の申出について、当院のデータベースに記録するとともに、国立がん研究センターと連携して、二次利用を行わないようにいたします。手続きに際し、以下の点についてご理解のほどお願いします。

- ・ 今回の拒否（オプトアウト）は、申出をいただいた当院から国立がん研究センターに提出されたデータ分のみです。他院に受診されてその施設からのデータ提出分も拒否をされる場合は、当該医療機関へもお申し出ください。
- ・ 現在行っている解析課題は国立がん研究センターのホームページで閲覧可能です。
- ・ 国立がん研究センターで解析のために研究者等にデータを提供する際には提出元と結びつけられる情報は削除します。そのため、この状態になって提供済みのデータについては、追跡が不可能なため削除できません。
- ・ 拒否（オプトアウト）を申出されたことによる、患者さんの診療に影響することはありません。
- ・ データは、当院で行われた診療内容ですので、その内容については、担当の医師に直接お尋ねください。

院内がん登録の制度自体について、ご不明な点などありましたら、国立がん研究センターが運営するホームページ「がん情報サービス」をご確認ください。また、必要に応じて問い合わせフォームもご活用ください。ただし、国立がん研究センターでは院内がん登録は番号のみで管理しており、氏名などの個人の患者さんが判別できる情報を保持していませんので、お問い合わせをいただいても個人の診療やデータの内容はわかりません。削除などの対応については、実際に診療を受けた病院を通して伝える必要がありますのでご注意ください。

国立がん研究センターによる院内がん登録情報の二次利用を希望されない場合は、お手数ですが当院の窓口へお申し出ください。

お問合せ窓口

泉大津急性期メディカルセンター

企画室 がん登録担当者

TEL：0570-02-1199（ナビダイヤル）